

『家族介護者教室』のご案内



「笑顔かがやく回想法」

コロナ禍での生活も間もなく2年となりますが、皆さんはいかがお過ごしですか？
落ち着いてきた社会状況もオミクロン株の影響により、生活への配慮は継続していく
必要がありそうです。そのような中、日々様々なストレスや介護疲れなどでご苦
労されている方々へ有用な「回想法」という心理的手法があります。少しでも活用
できるように動画を通じて一緒に学びましょう

【配信日】令和4年1月31日（月）から

【発信】YouTube チャンネル

「浴風会病院 認知症疾患医療センター」

【内容】①講話「回想法ってなあに？」

▼明治学院大学 心理学部心理学科 准教授 野村 信威氏

②演習：「回想法を使ってみよう」

▼ゲスト センター長 精神科医 古田 伸夫

NPO 法人介護者応援団の皆さま

③談話：「回想法を通じて自らの介護を振り返る」

▼レポーター：精神保健福祉士 村松 はるみ

【申込み】浴風会病院 東京都認知症疾患医療センター

☎5336-7790

※申し込み後に、サイトのURLと資料を送付いたします



～家族介護者教室 ミニレポート～

昨年度、私たち認知症疾患医療センターの挑戦としてYouTubeチャンネルの開設をしコロナ禍に左右されないオンラインにて開催してきました。

今年度も皆様が安心・安全に受講いただけるよう引き続きYouTubeを主とした開催をして参ります。皆様とお会いできる日が早く訪れますように。

写真は第3回「認知症への絵の効用」の様子です。和やかな時間でしたが、送る相手を想いながら描き、書くことで頭も心もよく使うことが実感できました。



認知症疾患医療センター職員の「おすすめ書籍」ご紹介コーナー

今年度は、認知症を持つ家族を介護する方々からリクエストいただいた、「認知症に関するおすすめ書籍」をご紹介するコーナーを設けています。5冊目の今回は、「ばあばはだいじょうぶ」のご紹介と職員の読んだ感想を掲載しました。



大好きな、やさしいばあばが、この頃変わってしまった。何度も同じ質問をしてきたり、とくいだった編み物ができなくなったり。ばあばは「わすれてしまう病気」なんだ。そして冬の寒い日、ばあばがいなくなっていま…。(童心社HPより)



作：楠章子
 絵：いしい つとむ
 出版社：童心社
 価格：1,320円(税込)



古い、認知症、介護といった、誰もが避けては通れない問題を子どもの視点から描き出しています。優しい絵柄に心が温くなり、じんわりと泣けてしまいます。介護でどんなにイライラしてもほんの少し立ち止まってみよう、ほんの少し相手の気持ちになってみよう・・・そう思わせる作品でした。

「認知症」は記憶を少しずつ失っていても、それでも「変わることはない人間性」と「家族のつながり」があります。昨今のコロナ禍における私たちの生活そのものについても、お互いの気持ちや意思の尊重を大切に、日々を豊かに暮らしていけるようこれからも皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。



浴風会病院 東京都認知症疾患医療センター
 (所在地) 〒168-0071
 杉並区高井戸西1-12-1
 (連絡先) TEL: 5336-7790
 FAX: 5370-5006
 (窓口時間) 平日 9:30~17:00
 ※ 土・日・祝日休み

《交通のご案内》

- 【京王井の頭線】
 - ▼富士見ヶ丘駅 徒歩7分
 - ▼高井戸駅 徒歩9分
- 【JR 荻窪駅南口より 関東バス】
 - ▼『芦花公園駅 行』
 - ▼『北野 行』
- ※いずれも『浴風会前』下車 徒歩8分